

本フォーラムの趣旨

農林中金総合研究所
リサーチ&ソリューション第一部 重頭ユカリ
2025年5月14日（水）

2025年は国連が定める国際協同組合年



国際協同組合年

協同組合はよりよい世界を築きます

- 国連は、さまざまな分野で持続可能な開発目（SDGs）に貢献している協同組合を評価し、**その認知の向上**と協同組合の振興のために、2025年を国際協同組合年に定めた

- 協同組合原則・・・協同組合がその価値を実践に移すための指針

第1原則 自発的で開かれた組合員制

第2原則 組合員による民主的管理

第3原則 組合員の経済的参加

第4原則 自治と自立

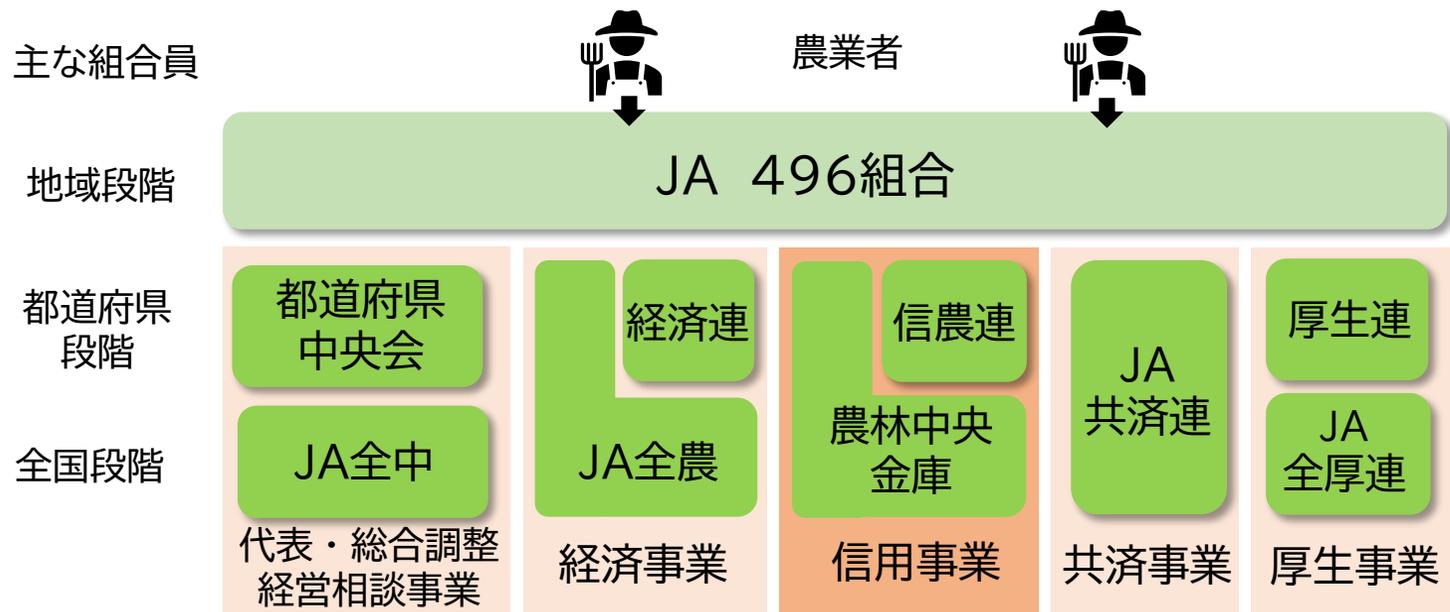
第5原則 教育、訓練および広報

第6原則 協同組合間協同

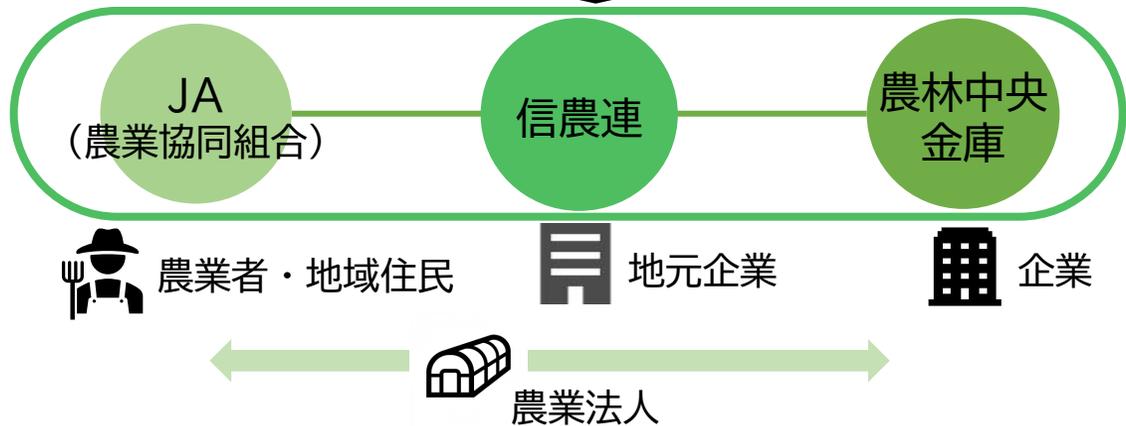
第7原則 コミュニティへの関与

JAの主な組合員は農業者、信用金庫の主な会員は中小企業。JAは総合事業を営む

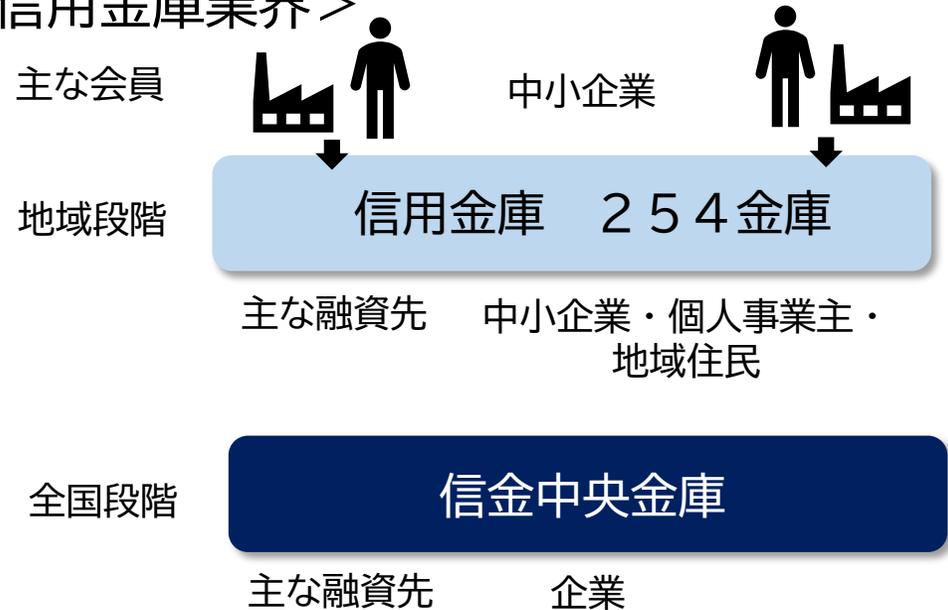
<JAグループ>



JAバンク



<信用金庫業界>



注 JA数は、2025年4月1日現在、JA全中 信用金庫数は、2024年11月末現在、信金中金 地域・中小企業研究所

ESG地域金融の定義と必要性

■ ESG地域金融の定義

- …『地域における**持続可能な社会・経済づくり**』を拡大するために地域金融機関が期待される役割、すなわち『地域の特性に応じた**ESG要素を考慮した金融機関としての適切な知見の提供やファイナンス等の必要な支援**』
- …従前から地域金融機関が取り組んできた、事業性評価での目利き、融資先への丁寧なモニタリング、本業支援等の**延長線**にある

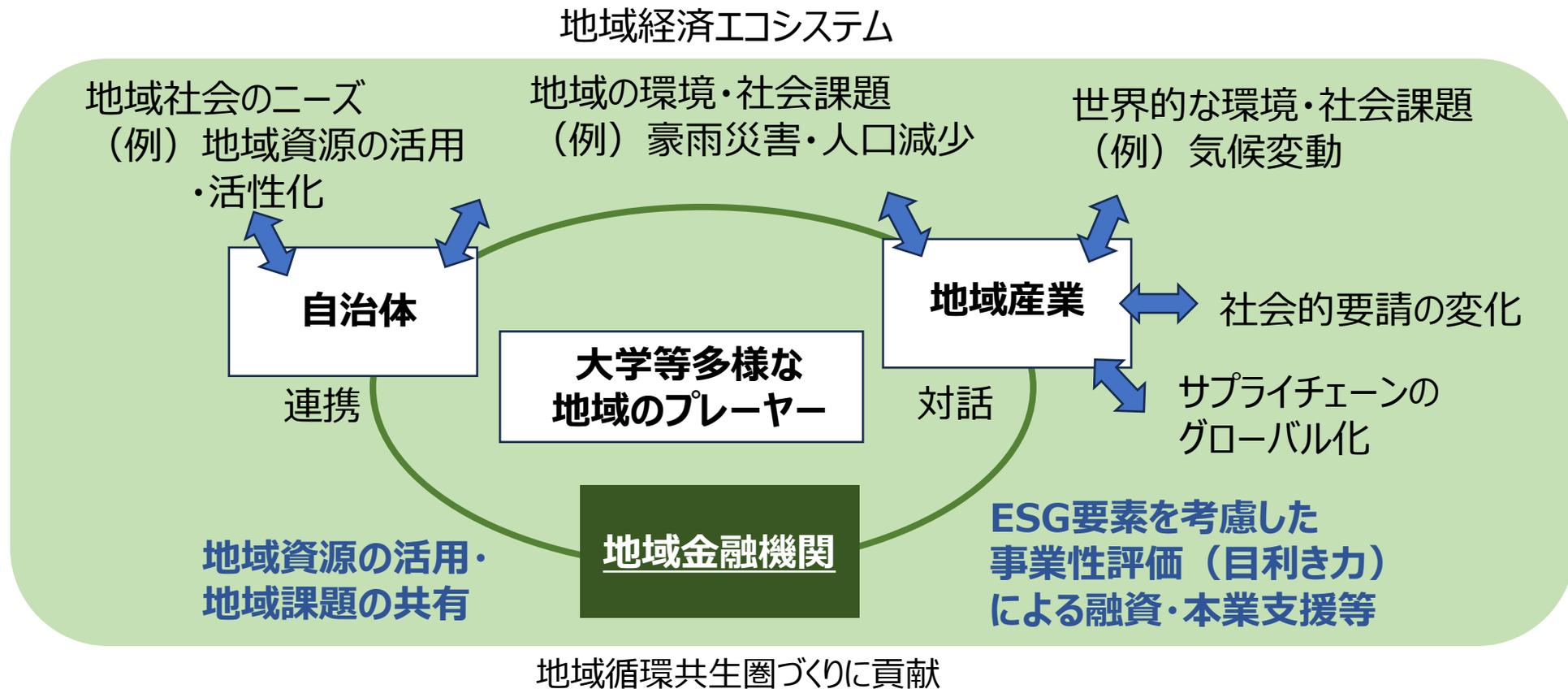
■ ESG地域金融が必要とされる背景

- …日本の地域経済社会は、高齢化や人口減少といった構造的な下押し要因のほか、気候変動対応やネイチャーポジティブ経済への対応、SDGsといった世界的な潮流の影響も受けつつある中で、**解決すべき地域課題を複数抱えている**

地域金融機関は、対話と連携を軸に、地域経済において重要なポジションを占める

■ 地域金融機関の位置づけ

- …地域経済の活性化に向けて、地域金融機関は自治体等と連携し、地域資源の活用・地域課題の解決に取り組んでいくべき重要なポジションにある



SDGsやSociety5.0の実現にもつながる

ESG地域金融は「地域循環共生圏」の構築に貢献すると期待されている

■ 地域循環共生圏

- … 地域資源を活用して環境・経済・社会を良くしていく事業（ローカルSDGs事業）を生み出し続けることで地域課題を解決し続け、自立した地域をつくとともに、地域の個性を活かして地域同士が支え合うネットワークを形成する「自立・分散型社会」を示す考え方

資料 環境省ウェブサイト

■ ESG地域金融の促進

- … 環境省：2019年度から「地域におけるESG金融促進事業」を実施
 - 2020年4月に「ESG地域金融実践ガイド」を公表
 - 以降、毎年3月に実践ガイド等を刊行
- … 農水省：2022年3月に「農林水産業・食品産業に関するESG地域金融実践ガイダンス」を刊行
 - 2025年3月版までガイドやモデル事例集を刊行

「農林水産業・食品産業に関するESG地域金融実践ガイド」等に掲載のJAバンクの事例

組織名	支援先	内容	
農林中央金庫	日本パレットレンタル株式会社	農林水産物・食品輸送におけるパレットの共同利用 -環境負荷の低減や循環型社会構築を評価し、グリーンローンを実行-	ガイド 第1版
静岡県信連、 農林中央金庫	株式会社リオグランデ、 株式会社A社	畜産業と食品産業が連携した食品リサイクル・ループの構築 -ニーズを踏まえたビジネスマッチングにより、環境負荷軽減と販路拡大を両立-	ガイド 第2版
北海道信連、 農林中央金庫	地域の酪農家	家畜糞尿処理の効率化に向けたバイオガスプラントの普及促進 -事業性評価モデルを活用した再生可能エネルギー事業向け資金メニューを創設-	〃
農林中央金庫	株式会社鈴生	農業法人におけるGHG排出量の見える化と削減の促進 -業界でも先進的な取り組みと目標設定を評価し、サステナビリティ・リンク・ローンを実行-	〃
愛知県信連	(株)六ツ美 ライスセンター	GAP認証取得による米輸出と地域伝統野菜の6次産業化 -事業者のニーズに沿った多様な連携先を紹介、自らもGAP指導員資格を取得し伴走支援-	モデル 事例集
長野県信連	(株)ファームめぶき	地域ブランド確立を通じた環境・社会への貢献支援 -耕作放棄地対策を合わせ、信州そば粉の確保、製粉工場の取得に伴う資金調達支援を実施-	モデル 事例集 第2版
山口県信連	ベルちゃんたちのおうち (株)	搾乳ロボット・バイオマス廃棄物処理システムを導入した酪農法人の設立支援 -法人設立に向けた課題抽出・計画策定から融資対応まで一連の金融支援を実施-	〃

資料 農林水産省ウェブサイト https://www.maff.go.jp/j/keiei/kinyu/esg_finance.htmlより参照可能

JAバンクでは、金融分野、農業分野の両面からESGに取り組んでいる

JAグループ
SDGs取組宣言

JA
(農業協同組合)

信農連

農林中央
金庫



農業分野



金融分野

「みどりの食料システム戦略」

2050年までに農林水産業CO2ゼロエミッション化

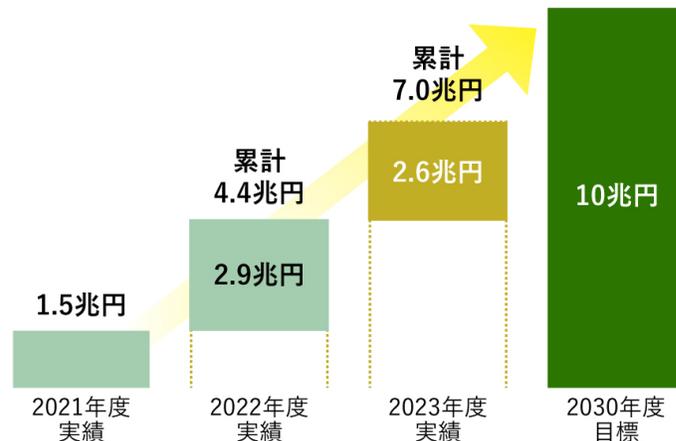
- 化学農薬使用量（リスク換算）50%低減
- 化学肥料使用量の30%低減
- 有機農業の取組面積の割合を25%に拡大等

GAP（農業生産工程管理）

2030年までにほぼすべての産地で国際水準GAPを
実施

- 「食品安全」「環境保全」「労働安全」「人権保護」「農業経営管理」の5分野

農林中央金庫の サステナブル・ファイナンスの取組み

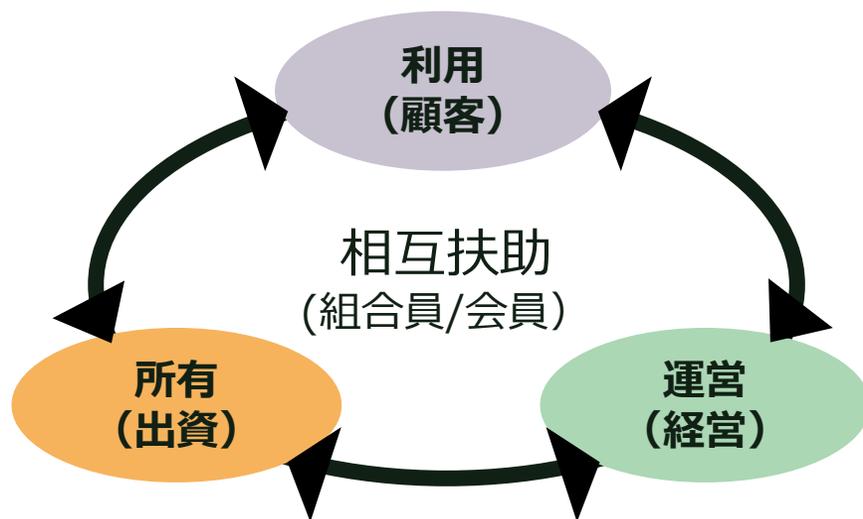


資料 農林中央金庫ウェブサイト
<https://www.nochubank.or.jp/sustainability/management/finance/>

農林中央金庫のESGローン商品

商品名	新規実行額 (億円) 2021~23年度累計
サステナビリティ・リンク・ローン	4,363
グリーン・ローン	3,247
ソーシャル・ローン	491
サステナビリティ・ローン	142
トランジション・ローン	506
ポジティブ・インパクト・ファイナンス	977

存立する地域の持続性可能性に資することは、協同組織金融機関の本質

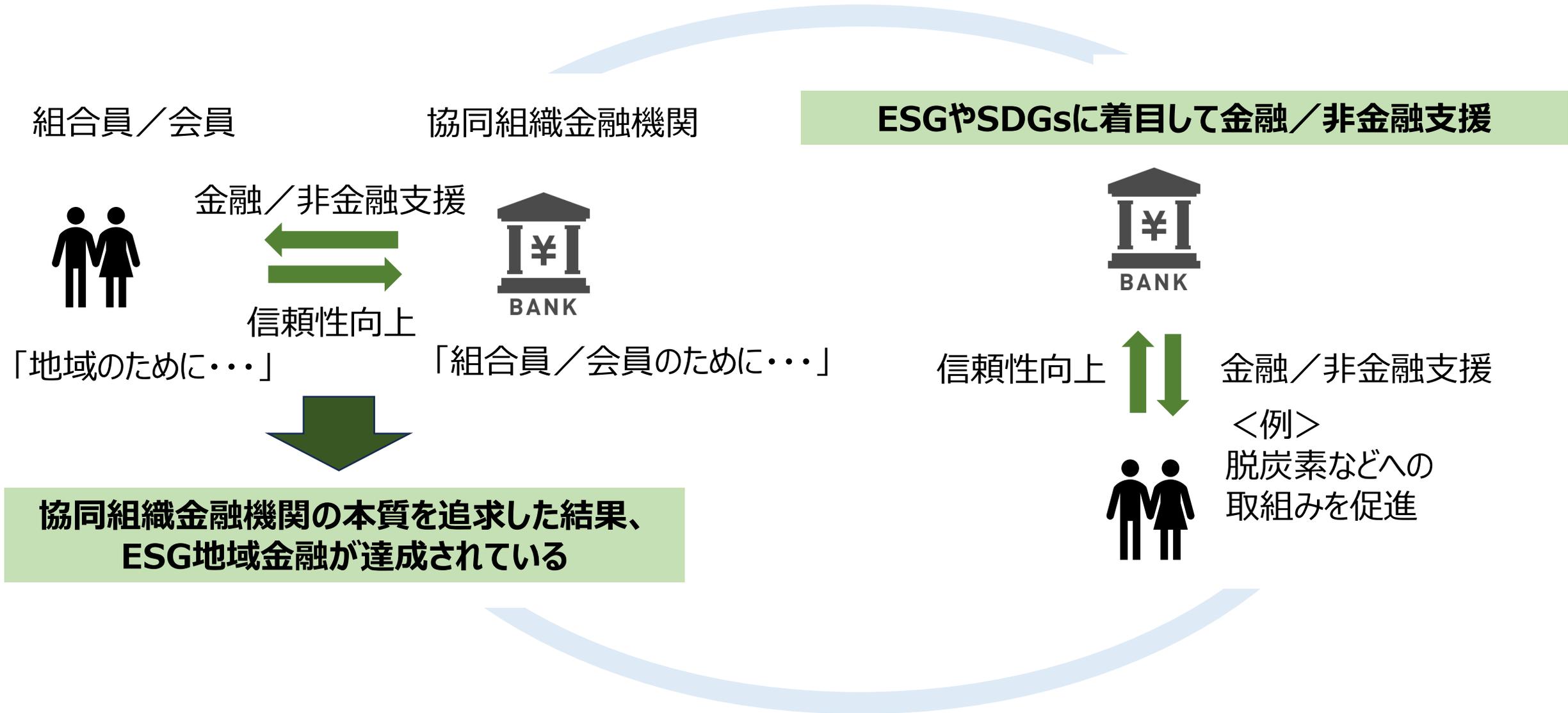
協同組合の
特徴

- 協同組合では、所有・利用・経営が三位一体
- 協同組合の目的は相互扶助

協同組織金融機関
の特徴

- 組合員／会員のニーズや願いを満たすために設立
- 組合員／会員とは長期にわたる深いつながりがあるのが一般的
- 営業エリアが限定されている
- 存立する地域の組合員／会員や住民の暮らし、経済の持続的な発展がなければ、協同組織金融機関自身の発展もない

協同組織金融機関の本質を追求した結果、ESG地域金融が達成されることも多い



事例を紹介しながら協同組織金融機関の役割を検討

研究者による解題

- 企画の趣旨説明
- 協同組織金融機関にとってのESG地域金融

埼玉縣信用金庫



特色

- 地域での課題
- 融資先の業種
- 主な連携先
- JAは総合事業

共通点

融資先事業体の
取組み内容の
「見える化」
(PIF、JGAP認証取得)
をサポート

JA愛知信連



ディスカッション

- 報告内容を踏まえ、協同組織金融機関がESG地域金融を行う上で重要なポイントについてディスカッション